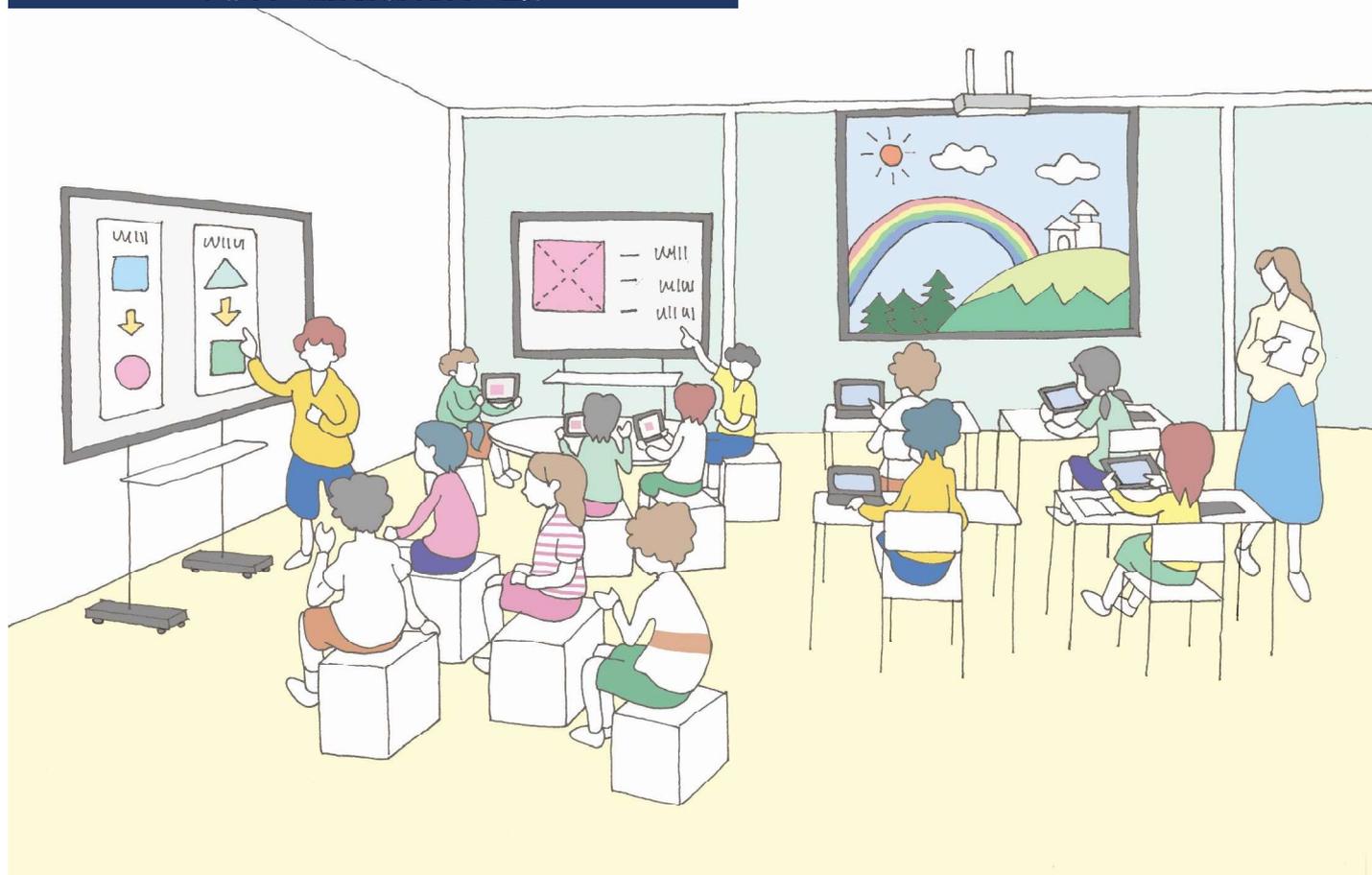


新しい時代の学びを実現する空間イメージ例 (未来思考の視点を含む)

01 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

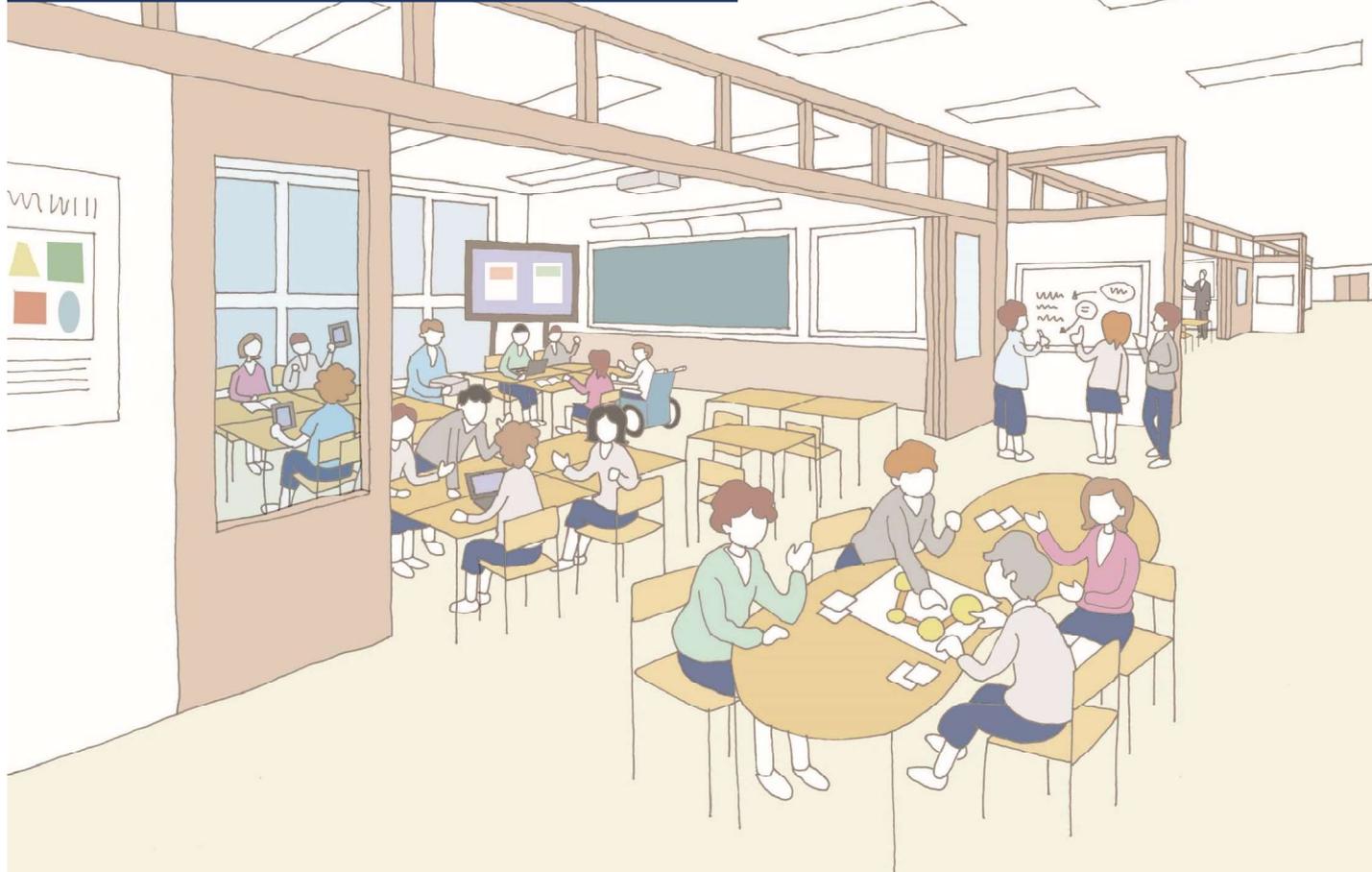
多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間において、紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていく姿

02 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

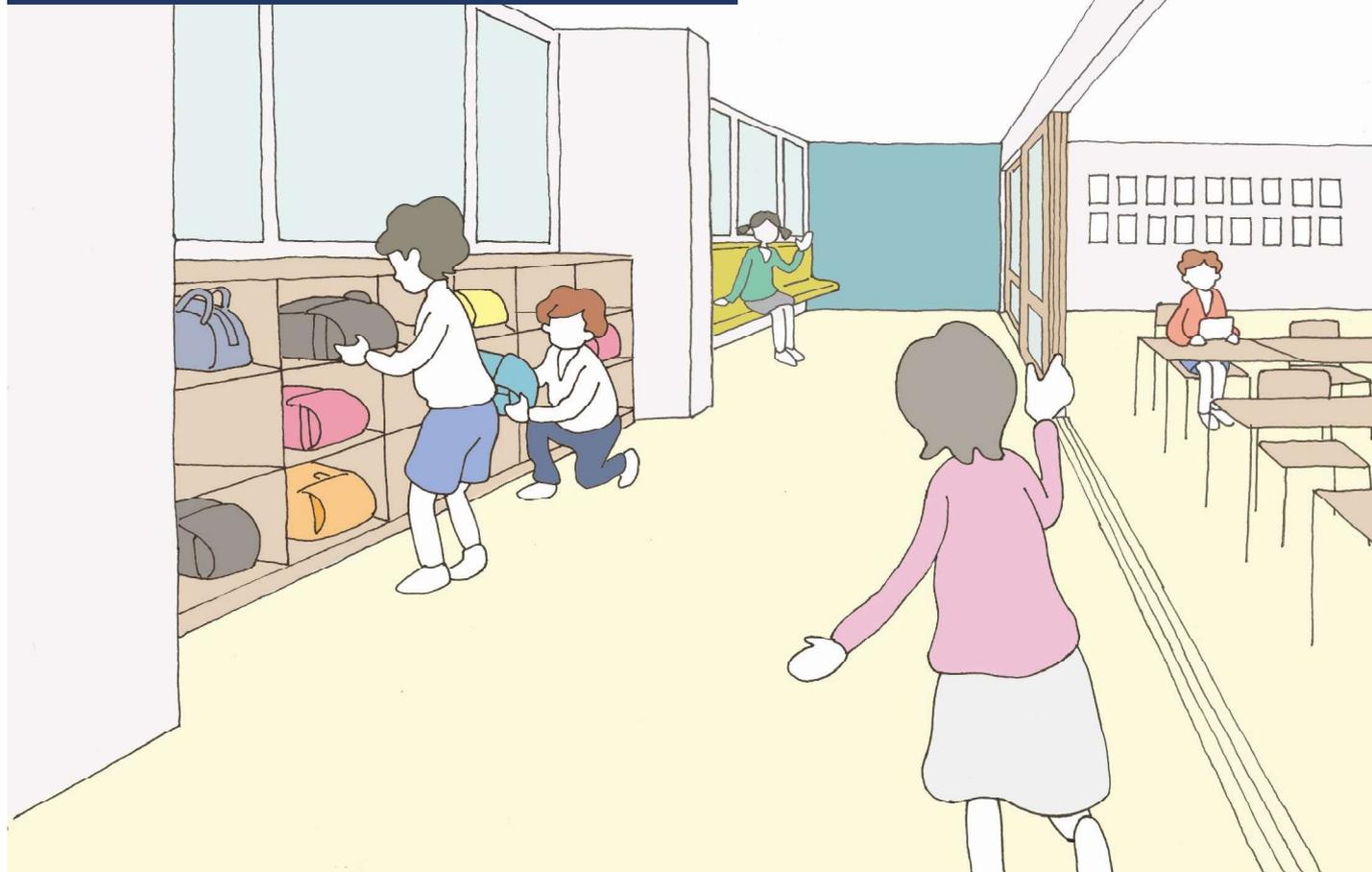
多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間と隣接する多目的スペースとの連続性・一体性を確保し多様な学習活動へ柔軟に対応していく姿

03 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

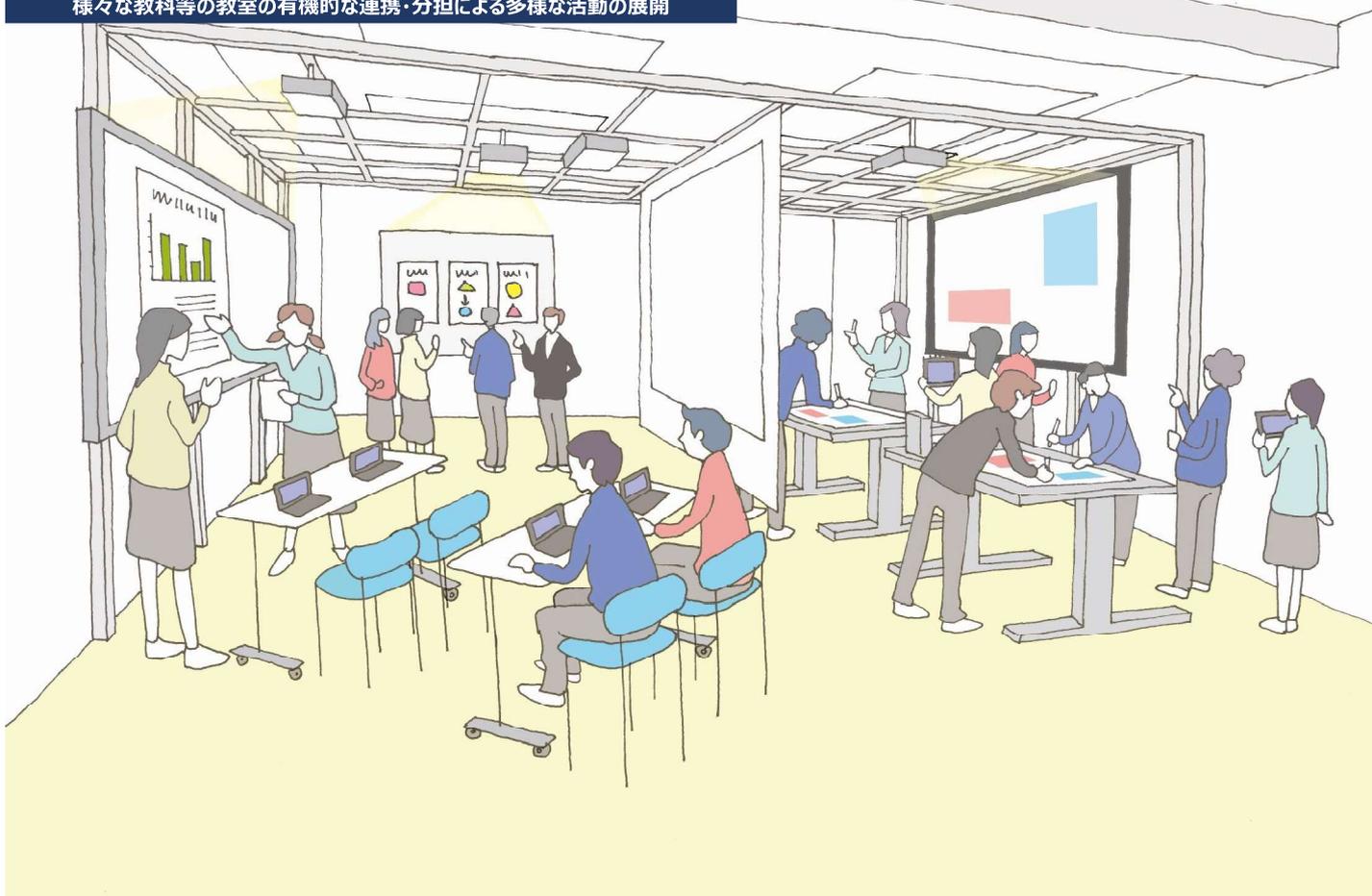
多様な学習活動を展開できる学習空間



ロッカー等の移動可能な家具を教室外に配置し教室空間を有効に活用していく姿

04 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

05 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開



教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿

06 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開



学校施設全体を学びの場として捉え、階段状の空間を、ステージやプロジェクタ等を備えた発表・表現の場としていく姿

07 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備



学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

08 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備



どの教室からも利用しやすいよう学校の中心に図書館を計画し、調べ学習や自主的・自発的な学習が展開されていく姿

09 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

設備や家具の工夫による多様な学習活動の展開・教室環境の充実



ICT環境の整備や移動が容易な椅子等の配置により、遠隔・オンライン教育など多様な学習活動が展開される教室環境としていく姿

10 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

学校における働き方改革を推進し、パフォーマンスを最大化するための執務空間



常時ICTが活用できる環境を整備し、教職員が円滑に執務、打合せ、協働作業等を行うことができる執務空間としていく姿

11 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

学校における働き方改革を推進し、パフォーマンスを最大化するための執務空間



映像編集やオンライン会議のための「スタジオ」、情報交換や休息ができる「ラウンジ」など機能性の高い執務空間としていく姿

12 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応



障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が安全かつ円滑に交流及び共同学習を行うことができるスペースを確保していく姿

13 【生活】健やかな学習・生活空間を実現する

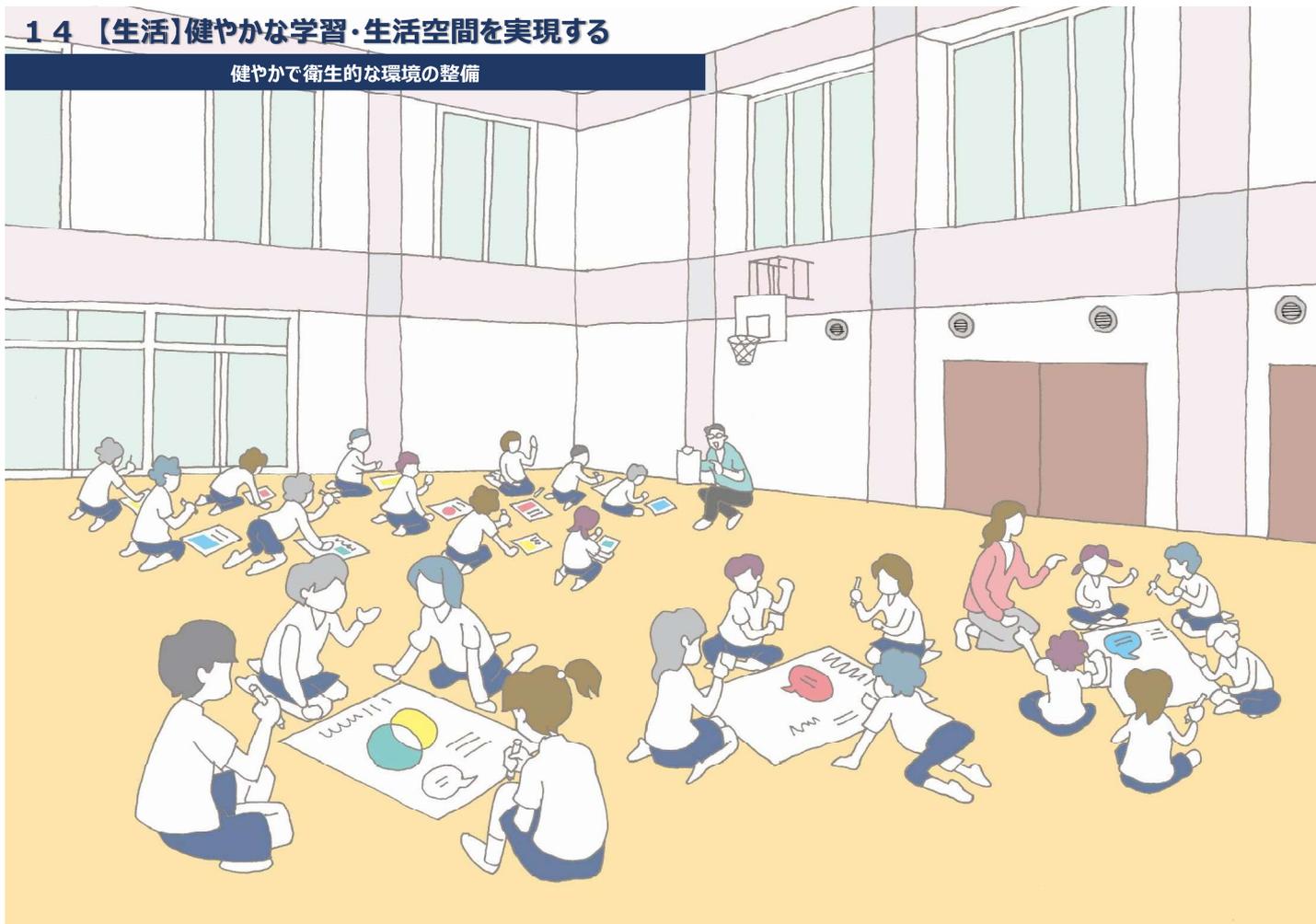
快適で温かみのあるリビング空間



木材を活用して温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿

1.4 【生活】健やかな学習・生活空間を実現する

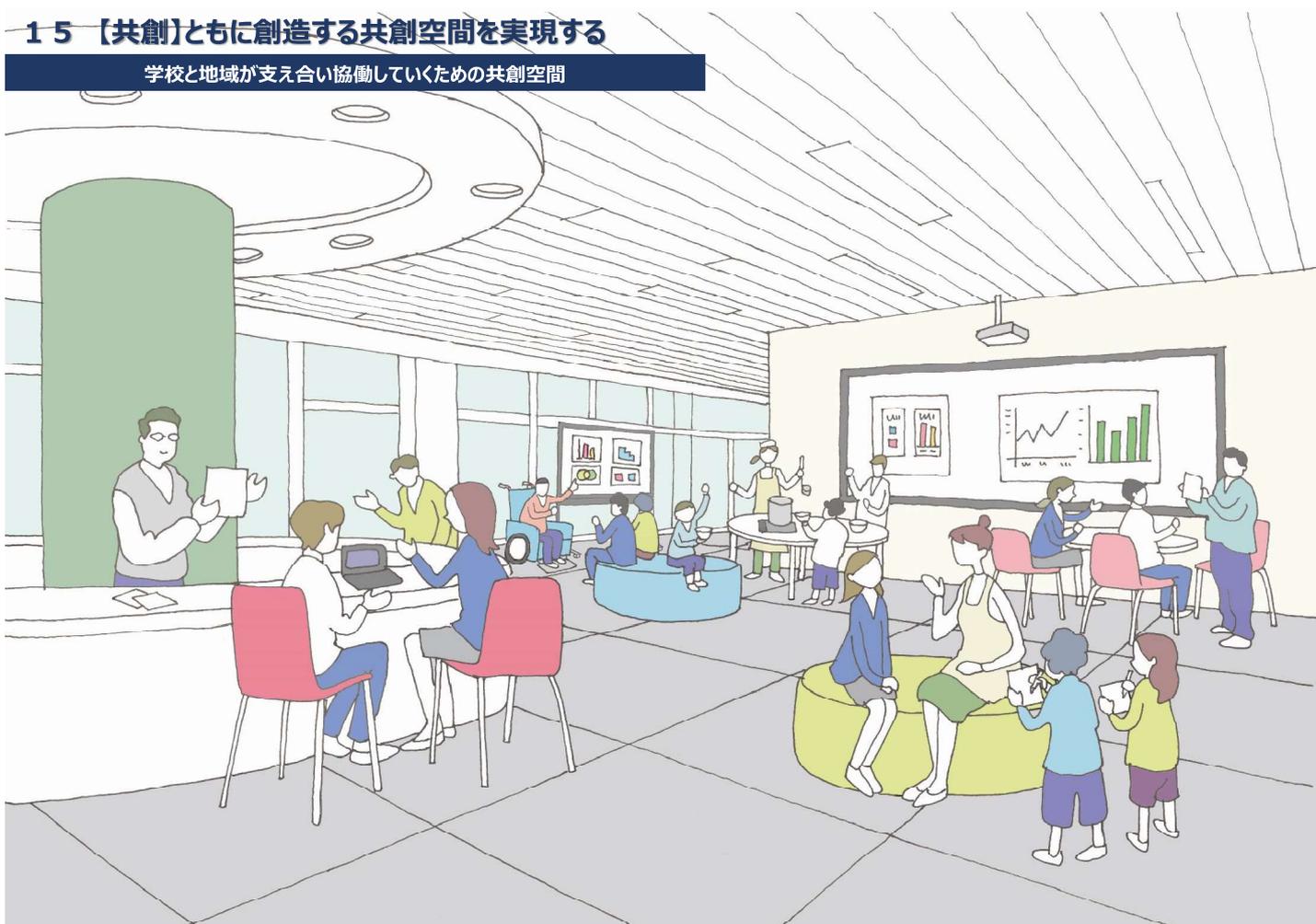
健やかで衛生的な環境の整備



断熱性能を高めて空調設備が設置された体育館を、大人数での多様な活動も展開できる大空間として活用していく姿

1.5 【共創】ともに創造する共創空間を実現する

学校と地域が支え合い協働していくための共創空間



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動ができる共創空間としていく姿

18 【安全】安全・安心な教育環境を実現する

避難所としての防災機能の強化



地域の避難所として、バリアフリー化、水害対策など防災機能を一層強化するとともに、居住性等を確保していく姿

19 【環境】持続可能な教育環境を実現する

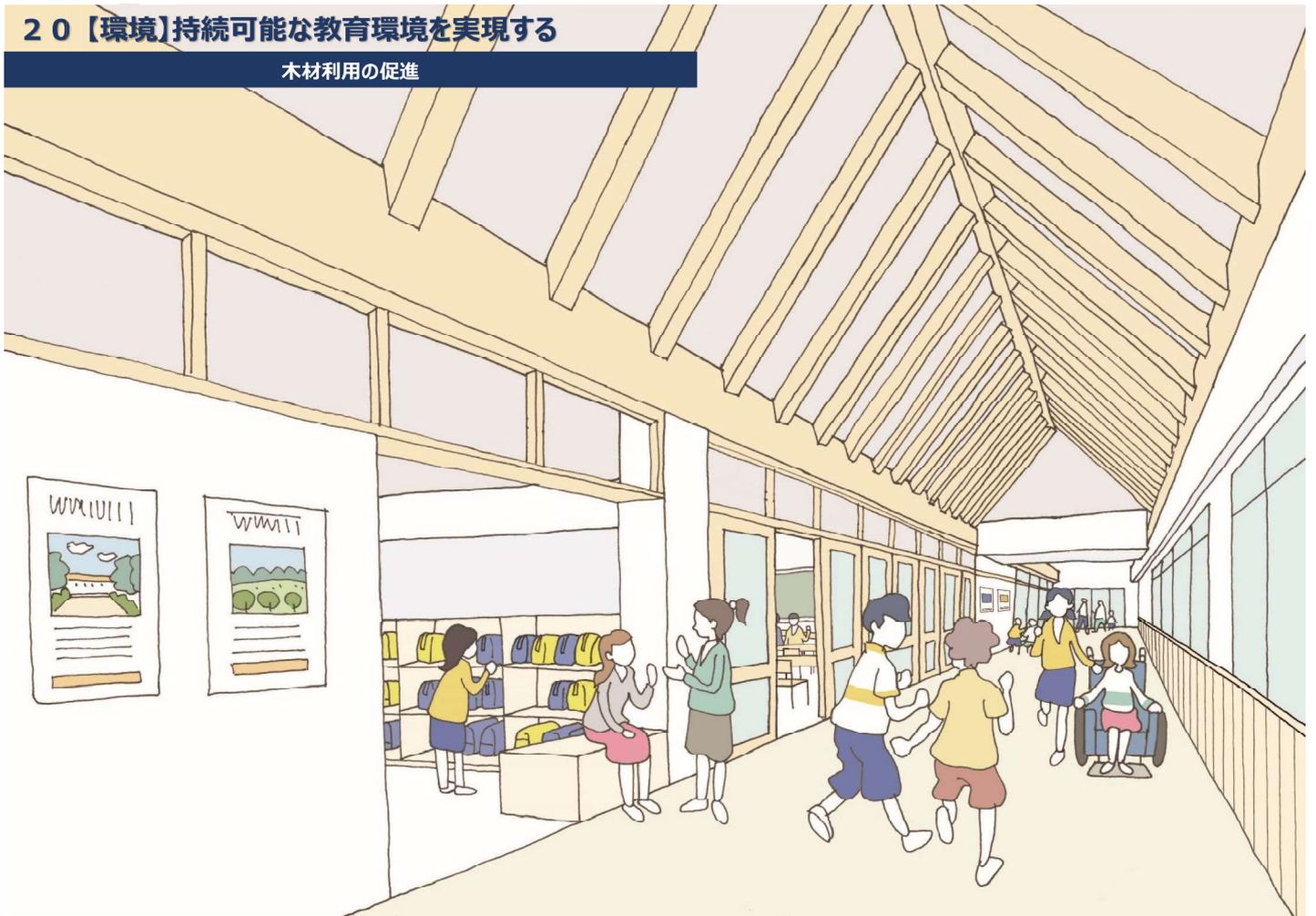
脱炭素社会の実現を目指した学校施設整備



省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

20【環境】持続可能な教育環境を実現する

木材利用の促進



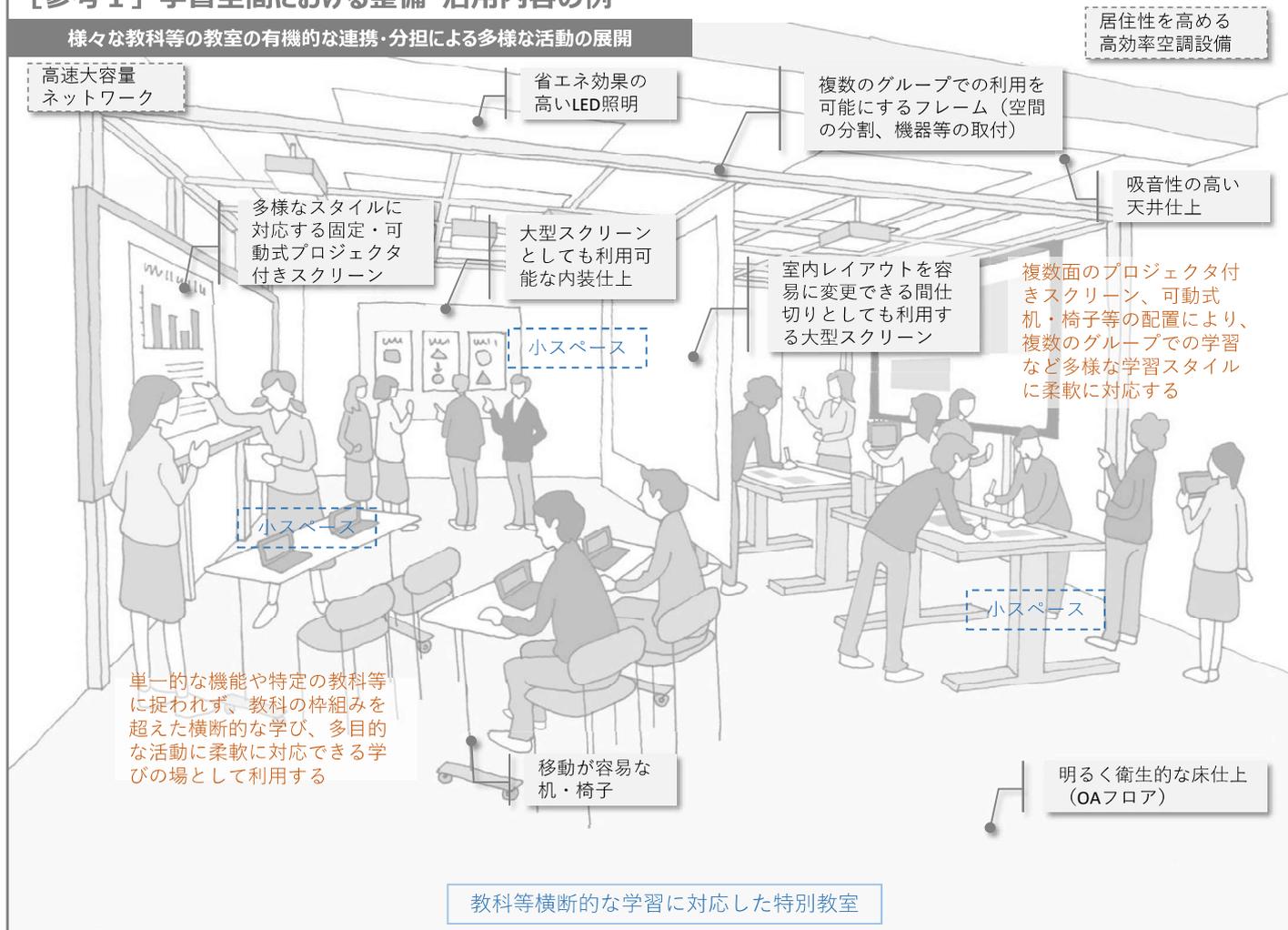
地域材の活用により、快適で健やかな環境を生み出し、環境負荷の低減に加え地域の活性化や文化の継承にもつなげていく姿

(参考)

新しい時代の学びを実現する空間における整備・活用内容の例

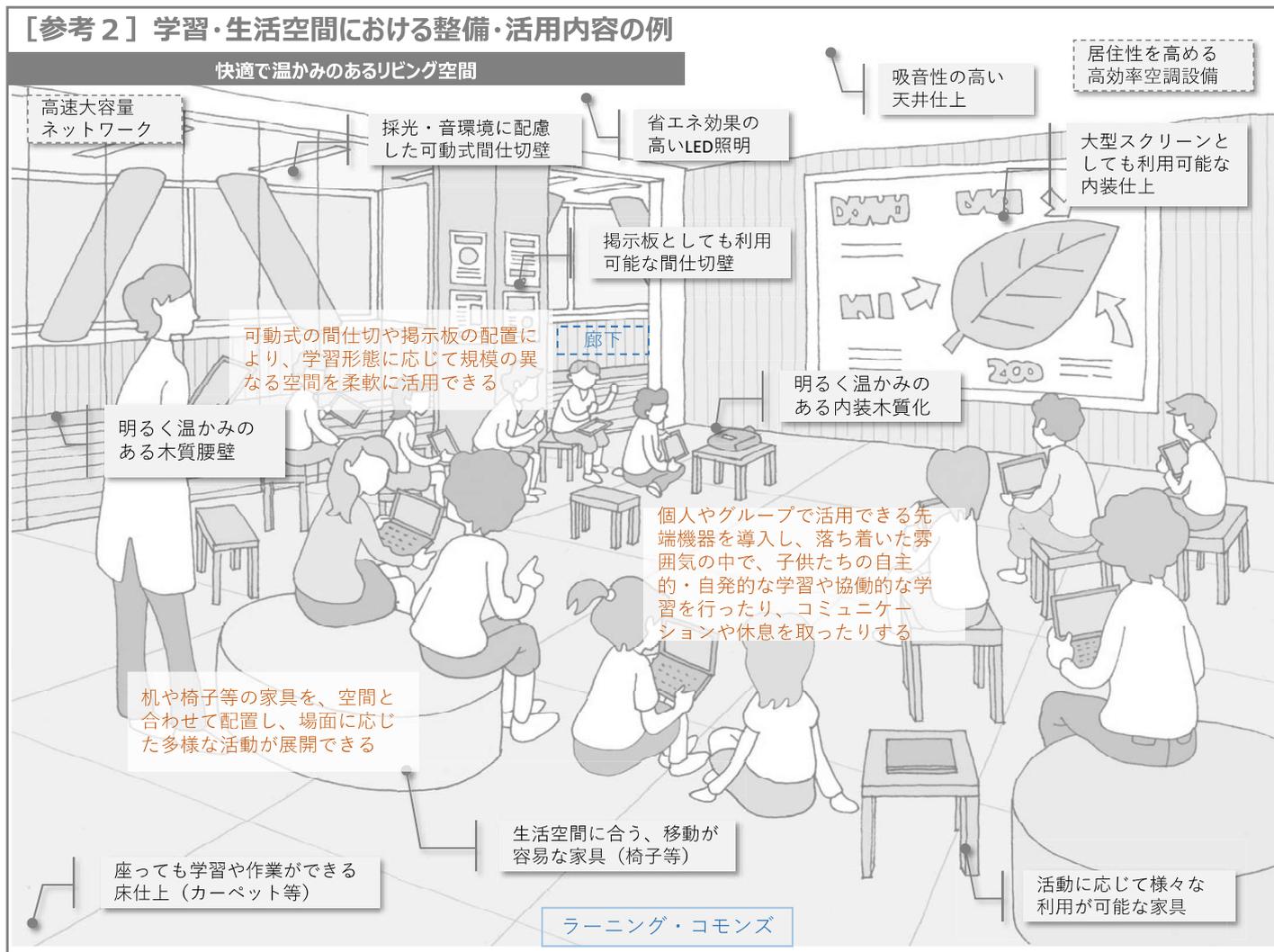
[参考1] 学習空間における整備・活用内容の例

様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開

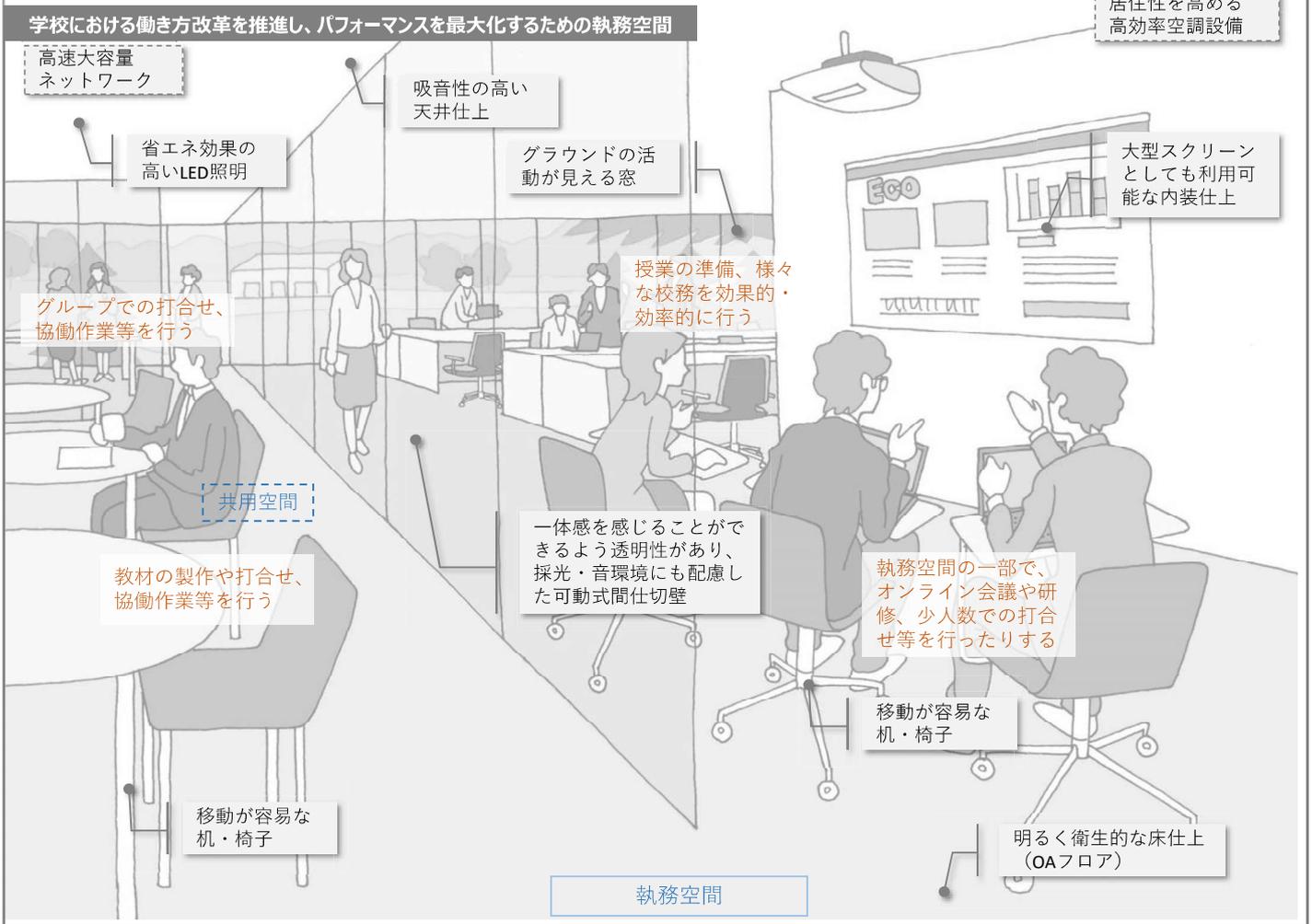


[参考2] 学習・生活空間における整備・活用内容の例

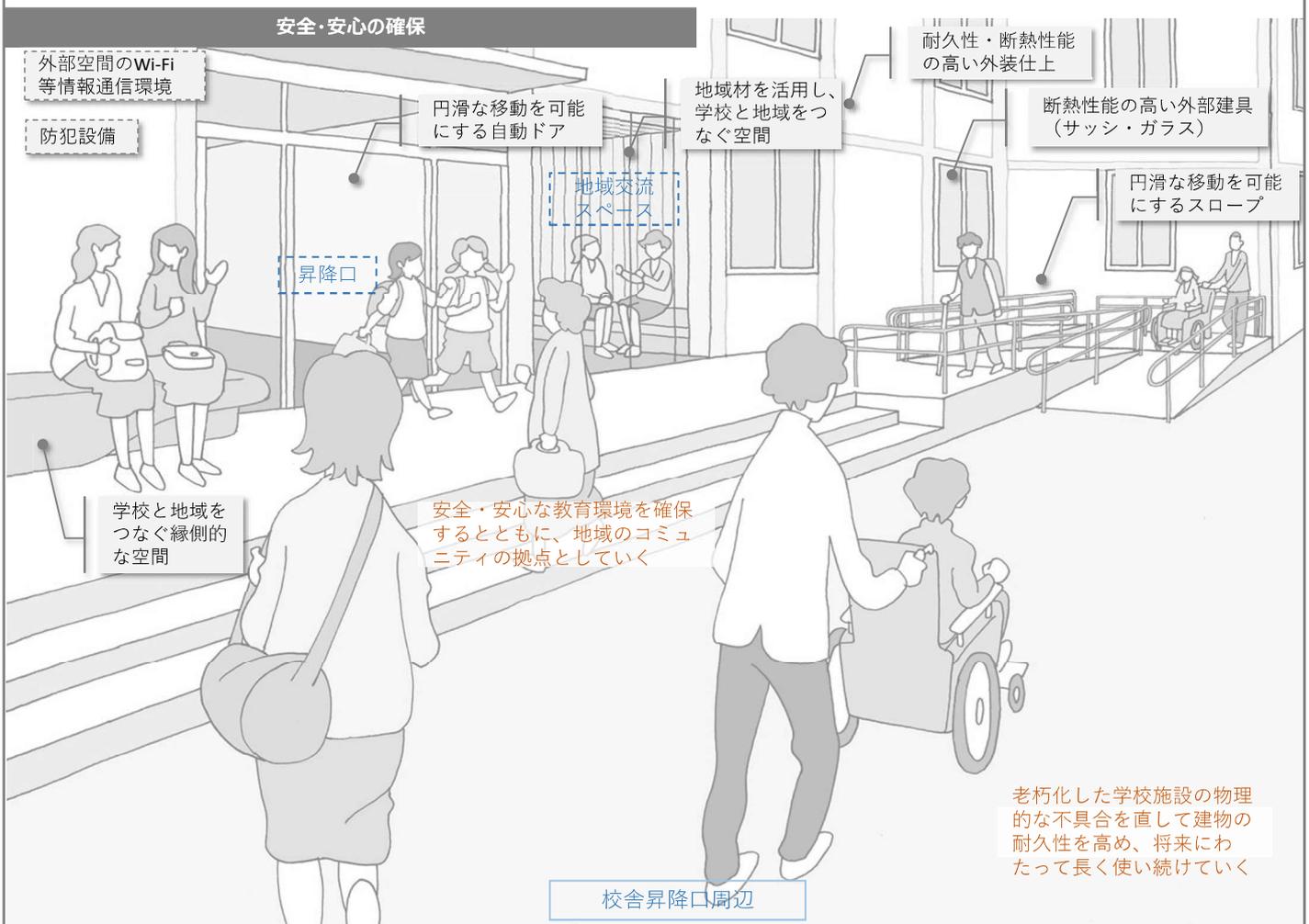
快適で温かみのあるリビング空間



【参考3】 執務空間における整備・活用内容の例



【参考4】 外部空間における整備・活用内容の例



新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）のイメージ例

- 本報告第3章で示した「新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）」（以下「新学校施設ビジョン」という。）を基本とし、学校設置者の当面の（2020年代を通じて実現する）整備において、重点化すべき方向性を「新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）」（仮称）（以下「目標水準」という。）として提示する。
- 学校設置者においては、学校施設の整備に当たって、学校施設の計画・設計上の留意事項を示した「学校施設整備指針」も活用しつつ、目標水準を踏まえた計画的・効率的な整備を推進することが重要である。
- この際、首長部局等との横断的な検討体制を構築し、教育環境の向上と整備コストの最適化を図ることが重要である。
- ※ 目標水準については、「安全・安心で持続可能な教育環境確保の視点から、施設整備の土台として着実に対応するもの」と「新しい時代の学びを実現する教育環境向上の視点から、創意工夫により特色・魅力を発揮するもの」を整理した上で、両者を一体的に推進する方向を明確化する。
- ※ 地方公共団体の財政状況や当該学校の実情、法的・技術的な課題等を勘案し、より実効性のあるものとして整理する。

- 1) 長寿命化改修による整備の場合 59
- 2) 新築等による整備の場合 63

1) 長寿命化改修による整備の場合

「長寿命化改修」とは、老朽化した施設を将来にわたって長く使い続けるために、単に物理的な不具合を直すのみではなく、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げるものであることを前提とする。

このため、学校設置者においては、長寿命化改修が、単に当初の建築時の状態に復旧するのではなく、時代に即応した教育環境に向上させていくものであることに十分留意することが重要である。

①安全・安心で持続可能な教育環境確保の視点から着実に対応

老朽化した施設を長寿命化改修するに当たって、安全・安心を確保し、持続可能な教育環境を確保する視点から、施設整備の土台として着実に対応することを推進する。

○安全・安心な教育環境の実現の視点

(主な整備内容)

- ・非構造部材も含めた耐震対策
- ・老朽化対策（構造躯体の経年劣化の解消、外壁の補修、耐久性を高めるための塗装・防水、設備の更新等の老朽化対策）
- ・スロープ、バリアフリートイレ、エレベーター等のバリアフリー化
※避難所指定、要配慮児童生徒等の在籍状況等を踏まえて着実に対応

○持続可能な教育環境の実現の視点

(主な整備内容)

- ・壁や窓等の断熱性能向上、高効率照明等の導入等の脱炭素化
※長寿命化改修においても新築に準じた学校施設の ZEB 化を計画することが望ましいものとして推進

②新しい時代の学びを実現する教育環境向上の視点から一体的に推進

老朽化した施設を長寿命化改修するに当たって、子供たちの学び・生活・共創の場として、新しい時代の学びを実現する教育環境向上の視点から、①と一体的に推進することとし、地方公共団体や学校等の実情を踏まえた創意工夫により、特色・魅力ある学校づくりを推進する。

この際、地方公共団体の教育ビジョン等を踏まえつつ、既存施設であることに起因する制約や財政状況等を勘案した上で、以下の図・表の整備方法（複数のパターンに分類・整理したもの）も参照し、整備内容を検討する。

※ 目標水準を、新学校施設ビジョンに基づき①と②に区分しているが、地域の課題や実際の整備方法等によって、①及び②の内容には重なりが生じることがあるとともに、①と②を必ずしも明確に分けることができないことに留意が必要である。

○柔軟で創造的な学習空間の実現の視点

(主な整備内容)

- ・既存の面積資源を有効活用・再配分し、多様な学習活動等に柔軟に対応できる学習・執務空間を整備
(例：教室空間の充実、可動間仕切りの設置、多目的スペースの整備、廊下等共用部分の有効活用、学校図書館の機能向上、職員室等の執務環境の改善等)
- ・高速大容量通信ネットワーク等の1人1台端末を活用した学習環境を整備
- ・インクルーシブ教育システムの構築や合理的配慮の基礎となる環境整備
(例：特別支援学級や通級による指導のための環境整備等)

○健やかな学習・生活空間の実現の視点

(主な整備内容)

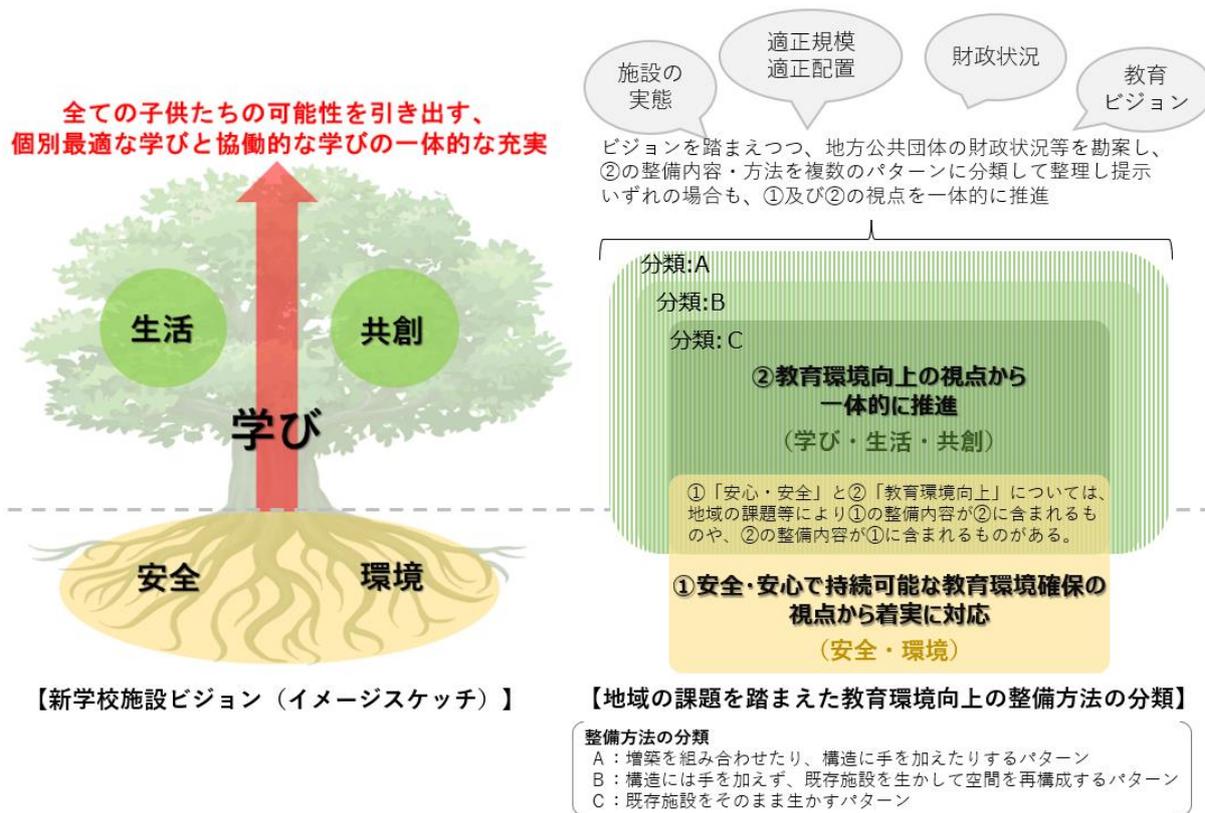
- ・トイレの洋式化・乾式化
- ・特別教室、体育館等の空調整備
- ・内装木質化等の木材の積極的な活用

○地域や社会との連携・協働の実現の視点

(主な整備内容)

- ・既存の面積資源を有効活用・再配分し、地域の人たちと連携・協働する共創空間を整備（動線整理、明瞭なゾーニング等）
- ・既存の面積資源を有効活用・再配分し、他の公共施設等と複合化・共用化
※地域の実情等に応じて、首長部局等と横断的に検討
- ・自家発電設備や情報通信設備等の防災機能向上
※防災担当部局と連携して対応

図：新しい時代の学びを実現する学校施設整備（長寿命化改修）の方向性イメージ



表：「柔軟で創造的な学習空間の実現の視点」に関する整備方法の分類パターン

分類	整備方法イメージ	具体的な整備内容例
A	既存の面積資源を有効活用・再配分するとともに不足するスペースを増築等により補い、多様な学習活動等に柔軟に対応できる空間を整備（可動間仕切り、多目的スペース、廊下等共用部分、図書館、職員室等） 【増築を組み合わせたり、構造に手を加えたりするパターン】	既存のプランそのものを見直し、増築を組み合わせたり、必要に応じ、構造に手を加え壁等の位置変更を行ったりして、創造的な空間を整備。ゆとりのある教室の整備、教室と廊下の仕切りを可動間仕切りにした上で、廊下の床の木質化、温熱環境の改善等により、共用部分を有効活用。コンピューター教室と図書館を組み合わせ、学校の中心にメディアセンターを新たに整備。あわせて、円滑な執務、協働作業、休息等のための空間を充実。
B	既存の面積資源を有効活用・再配分し、多様な学習活動等に柔軟に対応できる空間を整備（可動間仕切り、多目的スペース、廊下等共用部分、職員室等） 【構造には手を加えず、既存施設を生かして空間を再構成するパターン】	既存のプランそのものを見直し、多目的な学習ができる空間（教室一つ分）を学年ごとに整備、教室と廊下の仕切りを可動式とすることで開放的な空間を整備、廊下の床の木質化、温熱環境の改善等により、共用部分を有効活用。
C	既存の面積資源を有効活用し、多様な学習活動等に対応 【既存施設をそのまま生かすパターン】	余裕教室を新しい学びに対応する創造的な空間として整備、ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用。

2) 新築等による整備の場合

①安全・安心で持続可能な施設環境確保の視点から着実に対応

○安全・安心な教育環境の実現の視点

(主な整備内容)

- ・基本的な耐震性能、安全性能
- ・スロープ、バリアフリースイレ、エレベーター等のバリアフリー化
※バリアフリー法に基づき着実に対応
- ・自家発電設備や情報通信設備等の防災機能向上
※防災担当部局と連携して対応

○持続可能な教育環境の実現の視点

(主な整備内容)

- ・屋根や外壁等の高断熱化、高効率照明や高効率空調機等の高効率設備の導入等により、ZEB 基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指すとともに、再生可能エネルギーを積極的に導入

②新しい時代の学びを実現する教育環境向上の視点から一体的に推進

○柔軟で創造的な学習空間の実現の視点

(主な整備内容)

- ・多様な学習活動等に柔軟に対応できる学習・執務空間を整備
(例: 教室空間の充実(1人1台端末に対応した教室用机を前提とした空間の検討)、可動間仕切りの設置、多目的スペースの整備、廊下等共用部分の有効活用、学校図書館の学習・情報センター化、職員室等の執務環境の充実等)
- ・高速大容量通信ネットワーク等の1人1台端末を活用した学習環境を整備
- ・インクルーシブ教育システムの構築や合理的配慮の基礎となる環境整備
(例: 特別支援学級や通級による指導のための環境整備、クールダウンできるスペース、医療的ケアの実施に配慮されたスペースの整備等)

○健やかな学習・生活空間の実現の視点

(主な整備内容)

- ・トイレの洋式化・乾式化
- ・特別教室、体育館等を含む学習・生活空間の空調整備
- ・内装木質化等の木材の積極的な活用

○地域や社会との連携・協働の実現の視点

(主な整備内容)

- ・地域の人たちと連携・協働する共創空間を整備(動線整理、明瞭なゾーニング等)
- ・他の公共施設等との複合化・共用化
※地域の実情等に応じて、首長部局等と横断的に検討